

平成24年6月27日

各 位

会 社 名 株式会社ブリッジ・コーポレーション
代表者名 代表取締役社長 菊地 博紀
(J A S D A Q ・ コード 3 5 8 7)
問合せ先
役職・氏名 取締役 井上 政隆
電話 03 - 3582 - 3190 (代)

財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ

当社は、平成24年3月期決算において、当社の財務報告に係る内部統制は有効でないと判断し、財務報告に係る内部統制の不備は、財務報告に重要な影響を及ぼす可能性が高く、開示すべき重要な不備がある旨を記載した内部統制報告書を提出いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社は連結子会社である株式会社ハミングステージ（以下、ハミング）における前事業年度の営業権を譲り受けた取引等に基づく事案に起因して、適正ではないと考えられる会計処理が見受けられたため、前事業年度の有価証券報告書及び当事業年度の四半期報告書の訂正報告書の提出を行うことになりましたが、その際に設置した社外調査委員会から、営業権譲受における出金処理について適正な証憑に基づき適正な承認手続をとっていなかったこと等が上場会社としての内部統制上重大な問題があったとの指摘がなされました。当社は、問題発生の原因を整理し、以下の（1）及び（2）の再発防止策を講じた結果、内部統制上の問題が生じた時期に比べ一部改善がなされております。

（1）子会社の管理・規定の整備

当社の子会社管理規程並びに当社及び子会社の取締役会規程及び決裁権限規程を見直すことにより、ハミングが通常業務とは異なる業務で一定の金額の出金を行う際、事前に当社の承認を得よう規程を整備し、親会社である当社側でハミングを管理するシステムを構築いたしました。

（2）監査機関における連携強化

内部監査室長に公認会計士の資格を有するものを採用することにより、監査役、会計監査人及び内部監査室長の連携を強化する体制を構築いたしました。

上記の問題は、全社的な内部統制におけるリスクの評価と対応及び統制活動が不十分であったことに起因して発生しましたが、上記再発防止策を講じたものを除き、事業年度末までに是正されませんでした。

事業年度末までに是正されなかった理由は、これらの不備の発覚が当事業年度末日直前であり、改善策の実行が事業年度末までに完了しなかったためであります。

一方、財務報告に係る内部統制の整備及び運用の重要性は認識しており、判明した不備を補うため、取締役会の体制改善、子会社も含めたコンプライアンス意識の向上、監査役による監査の充実及び社外有識者等による経営監視機関の設置等の対策を早急に講じ、翌事業年度においては、適切な内部統制を整備・運用する方針であります。

以 上